

ビジネスコンテストに挑戦

学籍番号：Y200228 氏名：加藤直己

活動の目的

課題解決への

「情報収集」

「課題の決定」

「アイデアの創出」

「試作の経験」

の一連の流れの経験を積むことである。

参加したビジネスコンテストとテーマ



TOKYO
MIDTOWN
AWARD
2022

テーマ

TRIP

2022年、そろそろパンデミックが終息してほしい。

そして、また旅に出かけたい。

あなた自身が描くこれからの「TRIP」にまつわるデザイン、アイデア、プロジェクトを募集します。

期間：2022年6月17日（金）～7月19日（火）

活動の主な流れ

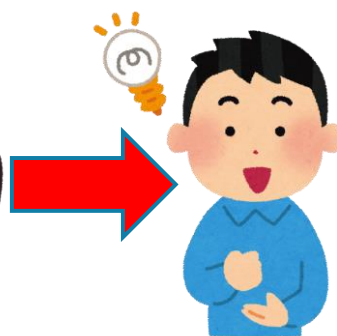
情報収集



課題の明確化



アイデア出し



プロトタイプ作り



新たな「TRIP」のビジョン

私が考えた現在のTRIP

- ①日常生活で私達を縛る規則から開放する。
- ②会わないもしくは会えない人と関わるようになる。



さらに自由度の高い『TRIP』へ

情報収集について

アイデアを生む上で有益だった情報は、

観光・交通(鉄道)

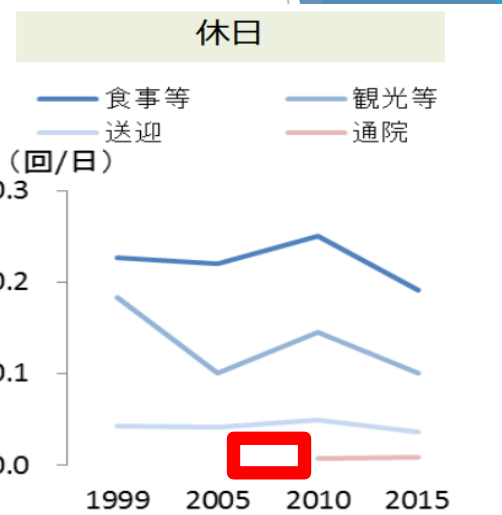
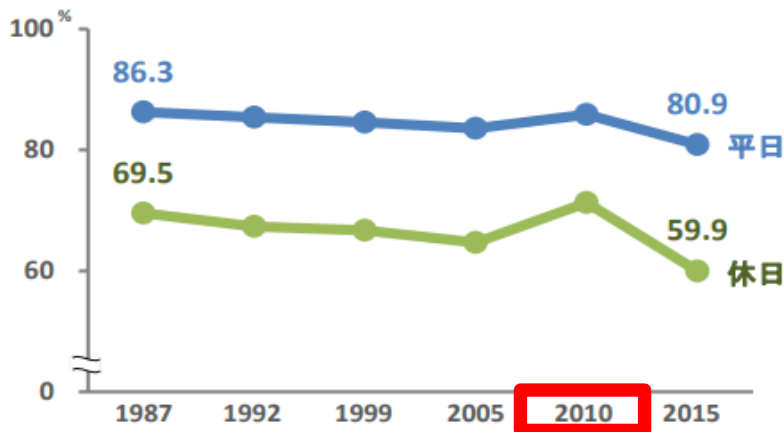
関連分野

エンターテインメント業界

異なる分野

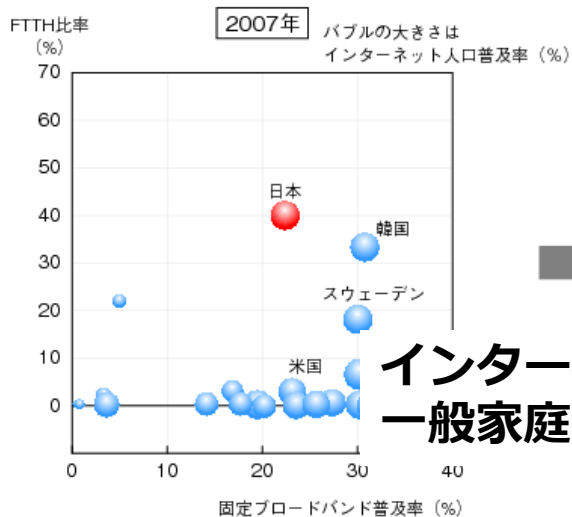
調査結果

交通(鉄道)・観光(1)

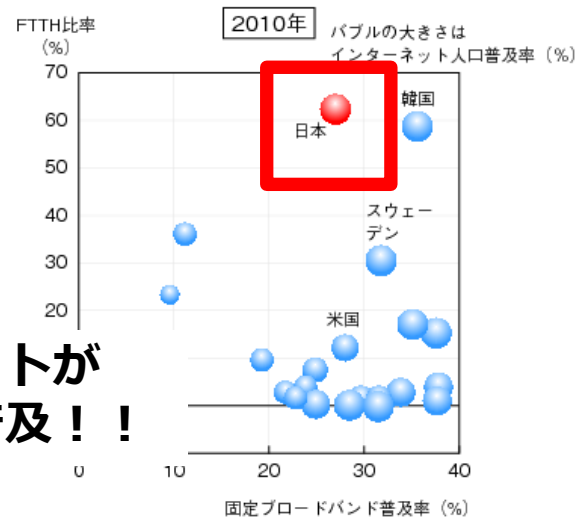


出典：国土交通省平成27年全国都市交通特性調査

2010年以降、
観光目的での
外出する割合
が減っている



インターネットが
一般家庭に普及！！



※ 調査対象27か国（日本、韓国、中国、シンガポール、イタリア、カナダ、オーストラリア、オランダ、フィンランド、スイス、オーストラリア、フランス、米国、ニュージーランド、ポルトガル、英国、ドイツ、スペイン、ベルギー、デンマーク、スウェーデン、インド、ブラジル、ロシア、南アフリカ、ノルウェー、マレーシア）

調査結果

観光(2)

例)沖縄県の沖縄美ら海水族館

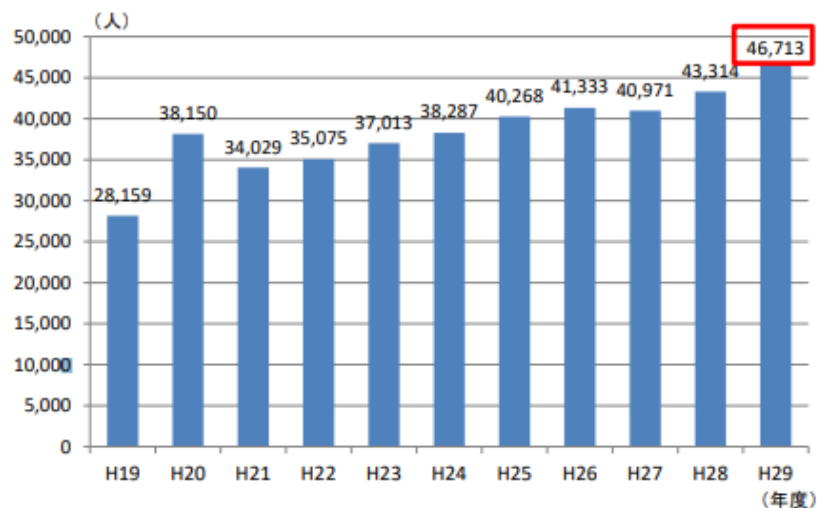


図1 沖縄美ら海水族館の障害者区分※の入場者数の推移

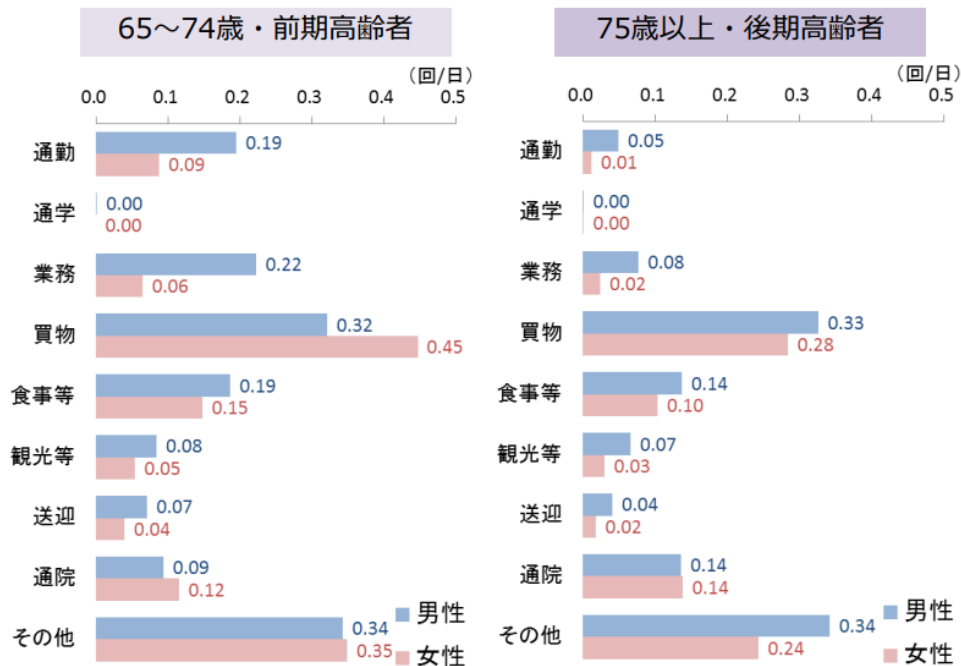
障がい者の入場者数が伸びる要素として、

- バリアフリーマップの充実
- 点字案内、音声案内の整備
- 天候に左右されない

調査結果

観光(3)

高齢者の移動の目的構成比



近年、高齢者全体で
旅行目的の外出の割合は低い

調査結果 交通(鉄道)

都市圏の鉄道ビジネス

- ・ 「駅ナカ」と呼ばれる駅構内での小売りや飲食事業の展開により、駅を「にぎわいの場」に変化
- ・ 都心部のターミナル駅のリニューアル
- ・ 駅と隣接した多様な施設と共にエリア全体の魅力を向上させる再開発
- ・ 鉄道の延伸と共に延伸先を進め、観光地化が進んだ。
(例：大規模な集客施設の建設)
- ・ 遊園地やテーマパーク、リゾート等の開発と運営を手がけている。
(例京阪電車は枚方パーク、阪急グループは宝塚劇団)

しかし、問題点として莫大な初期費用が掛かってしまう。

調査結果 テーマパーク

(例)東京ディズニーランド

- 日常生活を意識させない
「非日常性」の徹底
- 新たなアトラクションの追加により**新鮮味を保たれている**
- 交通の利便性が良い

➡ **顧客の経験価値**



以上より、明確に浮かび上がった課題

●バリアフリー化が進んでいない
⇒一定数の層がはじめから対象外になってしまう

●顧客の経験価値の鮮度が保たれない
⇒いずれ誰にも見向きもされなくなる

バリアフリー化
のための工事



お金がかかる

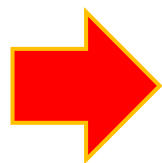
新たに建造物を作る

課題に対して解決するためには...



SNS型の観光

最終的に出した答え

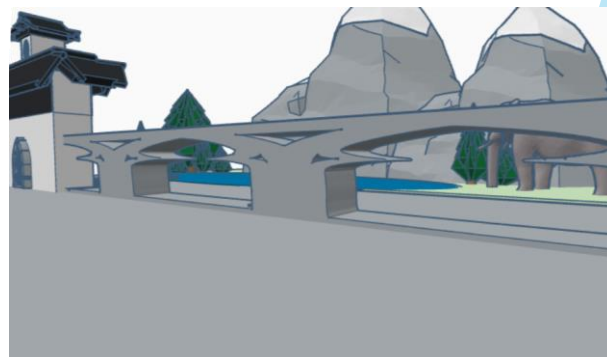


①3D地形スキャン+②SNS+VR

⇒レーザースキャニングを用いて点群を合成・加工し、詳細な3D地形モデルを生成出来る。



⇒3Dモデルのデータをオープンソース化し、他のユーザーがその空間を探索する。
さらに、そのデータや他の観光物を組み合わせるなど独自でデザインし、世の中にはない建造物や街を構築できるようにする。



得られるもの

この事により、

- 常に新しい経験価値を更新し続ける事が可能となり、

- どこでもだれでも自由に楽しめる形となる

地元へ貢献できること

このサービスを利用することで、オリジナルである現地まで足を運ぶ新たなきっかけ

⇒全く新しい宣伝効果としての役割となる可能性がある

まとめ

良かった点

既存の観光の現状や異なる分野から知見や技術を取り入れることで全く新しい観光のアイデアが生まれた。

課題点

実装の段階まで至らなかった